

| 実施年度      | 実施主体         | 対象獣種 |
|-----------|--------------|------|
| R 8 ～ R 9 | 大山町鳥獣被害対策協議会 | シカ   |

## 現状・課題

近年、ニホンジカによる農作物被害（特にキャベツ、ブロッコリー）が発生しており、特定の地域での被害が増加している。被害地域での捕獲は年々増加しているものの被害低減には至っていないことから、加害個体を効率よく重点的に捕獲する体制の構築が求められる。

## 事業概要

加害個体を効率的に捕獲するため、

- ・センサーカメラを活用して加害個体を特定した上で、遠隔操作型囲いわなを活用し、確実な捕獲を行う仕組みの導入、
- ・捕獲報告アプリにより捕獲情報をGPSで取得・地図化し、周辺の捕獲状況を踏まえて囲いわなの設置位置を選定することで、加害個体を優先的に捕獲する仕組みの構築、
- ・センサーカメラやGISを用いて出没状況や被害情報の変化を把握し、農地周辺での捕獲による被害防止効果の確認を実施。

## 活用機器 ※交付金活用外の機器を含む

- ・クラウドセンサーカメラ
- ・遠隔監視捕獲システム

## モデル地区の普及範囲

県と連携し他の自治体に共有

## 【イメージ】

